



もっと
知りたい!!

アクアフォームのQ&A

Q1 アクアフォームって 他の断熱材と 何が違うの?

従来のグラスウールなどの断熱材は現場の施工部分に合わせてカットし、貼っていくため細かい部分に隙間ができてしまうことがあります。アクアフォームでは**硬質ウレタンフォームを現場で発泡**し、吹付け施工するため細かい部分にも隙間なく充填でき、粘着性も高いため**安定した断熱効果**を得ることができます。

Q2 完成した断熱材の 精度に差が出たりは しないの?

施工後現場で専用の測定機を用い、**気密性をチェック**しています。住宅金融公庫の断熱基準をはるかに上回る高い気密性を維持しています。また、断熱空間が密閉されるため断熱性が高く、木材の経年変化にも順応するので**耐久性が高く、メンテナンスの必要がありません**。

Q3 断熱性が高いと どんなメリットが あるの?

隙間のない構造で家中を密閉するため、冬場も暖房で温めた空気が逃げることがなく家中が暖か。底冷えや部屋によって温度差が生じるヒートショックもないため**お年寄りや冷え性の方にも安心・快適**な住まいであるといえます。

Q4 高断熱・高気密 というと結露が 心配ですが...?

壁の中に隙間ができると壁体内結露が発生します。壁の中の結露はカビや構造材を腐朽の原因となるだけでなく白アリがつきやすくなり、住まいの耐久性を低くしてしまいます。アクアフォームでは構造体内に**隙間を作らないため結露が生じることもなく、安心**です。

Q5 子供がアレルギー なんですが影響は ありませんか?

一般的に断熱材として使用されているグラスウールは吸水性質があるためカビが発生しやすいですが、カビはダニの餌にもなるため必然的にダニが発生します。カビやダニの死骸が喘息やアトピーなどの原因になるといわれています。一方、**アクアフォームは断熱材に隙間がない**ため結露が発生せず、水を吸収することはありません。

Q6 省エネルギー効果は あるの?

住宅金融公庫の**次世代省エネルギー基準に対応可能**です。隙間のない構造で冷暖房の熱ロスがないため、具体的に冷暖房費で比較すると一般的な断熱住宅に比べ**ランニングコストは約1/3**に抑えることができます。

Q7 アクアフォームは 断熱効果以外にも メリットはあるの?

もちろんです。隙間の生じないアクアフォームでは、従来隙間から入り込んでいた**外部の騒音**や気になる内部の**生活音の漏れをシャットアウト**。騒音のないプライベート空間を維持します。

アタタの
疑問にお答え
します!

